

12/10~12

一般質問



15人が一般質問を行いました。その主なものを要約して掲載しています。詳細は、2月下旬までにホームページ等で公開予定の会議録をご覧ください。

世界遺産登録へ向けた縄文遺跡の活用

市政クラブ 遠山 俊一

質問 垣ノ島遺跡供用開始後、縄文文化交流センターの駐車場が不足するのではないかと。

答弁 供用開始後は、駐車場利用者増が見込まれることから、現在確保している臨時駐車場が不足する場合には、周辺で利用可能な場所を検討する。

コンテ日吉の行方

民主・市民ネット 斉藤 佐知子

質問 今後のコンテ日吉への市長の決意を伺いたい。

答弁 函館みらい会が再生に向けて動き出すとともに、スーパが順調に開業するなど状況が大きく変化しており、市として当初の目的を達成すべく、エリア全体のさらなる活性化に努めたい。

ヘルプマークの啓発

公明党 松宮 健治

質問 ヘルプマークの意味や存在を、広く市民に知らせるべきではないか。

答弁 ヘルプマークは、障がいや疾患があり、支援や配慮が必要なことを周囲に知らせるものであり、今後、企業や市電、函館バスへの協力依頼等により、周知啓発を強化し普及を図りたい。

豪雨による河川の氾濫

日本共産党 市戸 ゆたか

質問 浸水想定区域外の湯の川等が氾濫した場合、榎本町、滝沢町付近に避難所がなく、見直しが必要ではないか。

答弁 周囲が河川で挟まれていて、この地域の方々に周知するとともに、可能な限り早めに避難情報を発信するなど市民の安全確保に努めたい。

市民会館による地域貢献のための公民連携

民主・市民ネット 島 昌之

質問 公民連携についての考え方や今後の取り組みについて伺いたい。

答弁 市民会館等の指定管理者や文化関係団体等と連携し文化芸術活動の支援に努めてきたが、今後も連携を深め、本市の文化芸術の推進を図り、活力ある地域社会の実現につなげて参りたい。

中学校への通級指導教室の設置について

公明党 池亀 睦子

質問 通級指導教室の設置に向けた今後のスケジュールについて伺いたい。

答弁 深掘中学校に設置し、令和2年1月から開始し、生徒の受け入れの準備を進めていく予定だ。

北海道新幹線の赤字に対する認識

日本共産党 紺谷 克孝

質問 北海道新幹線の赤字に対する認識等について伺いたい。

答弁 乗客数の伸び悩みや修繕費の増加などから、平成28年度が約54億円、平成29年度が約98億円、平成30年度が約95億円の赤字となっており、厳しい状況にあるものと認識している。

町会活性化に対する今後の取り組み

市政クラブ 中山 治

質問 町会アンケートや検討会議の意見を受け、市はどう取り組むのか。

答弁 町会活性化検討会議では、課題や施策の検討を行い、令和2年度中に検討結果を報告書にまとめ、それをもとに、3年程度を目途に具体的な施策や仕組みを検討してまいりたい。

ペットを連れだした避難について

民主・市民ネット 見付 宗弥

質問 避難所となる小・中学校でペット同行で避難可能な施設はどの程度か。

答弁 屋外に係留するための飼育スペースを設け、全施設でペット同行の避難が可能。飼い主が注意すべき事として、平常時からペット用の避難用品を確保することなどがある。

公共工事の平準化について

公明党 小林 芳幸

質問 ゼロ市債などの債務負担行為を設定し、年度をまたぐ工期で工事を発注できるようにすることも必要と考えるが、見解をお聞きしたい。

答弁 債務負担行為の設定は、公共工事の平準化を図るための有効な手段の一つであると認識している。

学校給食における外国産小麦の使用

日本共産党 富山 悦子

質問 学校給食における外国産小麦の使用状況はどのようになっているのか。

答弁 主食であるパンの原材料である小麦については、北海道産となっている。パン粉やパスタなど小麦を原材料とした加工食品の一部には、アメリカなどの外国産小麦が使用されている。

福祉拠点の整備について

市政クラブ 出村 ゆかり

質問 工藤市長の意気込みを聞きたい。

答弁 あらゆる弱い立場にある人を見守り支える仕組みづくり、それが福祉拠点づくりだ。また、町会のあり方の検討、教育委員会が進めるコミュニケーションスクール、この3つが機能し地域で見守り支える体制を早期に実現したい。

市職員における障がい者雇用促進について

公明党 茂木 修

質問 市職員における障がい者の雇用促進に向け、今後どう取り組むのか。

答弁 正規職員だけでなく、会計年度任用職員についても、障がい者を対象とした採用試験を実施し、法定雇用率達成に向け、相談体制の整備など職場環境の整備に取り組んでまいりたい。

東部地域の魅力のアピールについて

市政クラブ 山口 勝彦

質問 自然景観を活かしつつ、近隣観光施設、イベントと連携し、東部地域の魅力をアピールするべきではないか。

答弁 すでに関係機関等と連携した取り組みを進めているが、今後、観光コースの充実や観光施設等との連携強化により、魅力を発信してまいりたい。

業務データの共有化について

無所属 荒木 明美

質問 EBP Mを進める上でも、庁内における統計情報などの業務データの共有化を進めるべきではないか。

答弁 各部署が保有するデータなどの情報共有化が不十分な面もあるため、行政情報のオープンデータ化の取り組みを進め、共有化を図ってまいりたい。